

定点報告 (上段: 定点当り/下段: 報告数)

区分	疾病名	2025年					2024年	2023年
		5週	6週	7週	8週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	2.11 19	1.56 14	1.00 9	2.00 18	— 805	— 2,570	— 3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	7.89 71	6.56 59	5.44 49	4.56 41	— 523	— 2,596	— 1,698
	RSウイルス感染症	0.20 1	0.40 2	0.20 1	0.40 2	— 7	— 104	— 110
	咽頭結膜熱	0.20 1	— 0	0.20 1	0.60 3	— 7	— 104	— 37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00 15	1.60 8	1.60 8	2.00 10	— 56	— 240	— 176
	感染性胃腸炎	3.40 17	5.00 25	2.20 11	6.60 33	— 121	— 696	— 1,023
	水痘	0.40 2	— 0	— 0	0.20 1	— 7	— 29	— 28
	手足口病	— 0	— 0	— 0	— 0	— 2	— 973	— 132
	伝染性紅斑	3.80 19	4.60 23	3.80 19	4.20 21	— 153	— 43	— 3
	突発性発しん	0.20 1	0.60 3	0.20 1	— 0	— 8	— 81	— 100
	ヘルパンギーナ	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 28	— 188
	流行性耳下腺炎	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 4	— 2
	急性出血性結膜炎	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 1
	流行性角結膜炎	— 0	— 0	— 0	— 0	— 5	— 6	— 9
	全数報告	結核	0	2	0	0	3	8
侵襲性肺炎球菌感染症		0	0	0	0	1	1	0

出典：福島県感染症発生動向調査週報(I DWR)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

<b>流行中</b>	伝染性紅斑 《警報》
<b>流行注意</b>	インフルエンザ 、 感染性胃腸炎

【新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について】

減少傾向ですが感染が続いています。引き続き体調管理に留意するとともに、基本的な感染対策をお願いします。

【伝染性紅斑について】

流行が続いています。ヒトパルボウイルスB19に感染することで起こる病気で、小児を中心に流行します。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、両ほほに紅い発疹、体や手足に網目状の発疹が現れ、1週間程度で消失します。発疹が出現する7-10日前に風邪症状がみられることが多く、この時期にウイルスが多く排出されます。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。妊娠中に感染した場合、胎児水腫や流産を生じる場合があります。



**基本的な感染対策をお願いします**

手洗い + 手指消毒

場面に応じたマスクの着用  
や咳エチケット

定期的な換気

体調不良時は  
無理せず休む